

たらい舟で川下り



星川でたらい舟下りに歓声を上げる児童ら。いずれも熊谷市で

「クールシェア」で熱中症を防ごう！ 熊谷市で今年初の猛暑日となった1日、市内各地で暑さ対策を進める「クールシェアくまがや」が始まった。この日は市中心部を流れる星川周辺でさまざまなイベントが開かれ、大勢の親子連れらでにぎわった。
（花井勝規）

クールシェアくまがやは熊谷青年会議所が事務局を務め、二〇一二年にスタート。「自宅のエアコンを消し、冷房の効いた公共施設や市内の店舗に出掛けよう」と呼び掛ける取り組みで、熱中症予防と省エネ、まちの活性化の「一石三鳥」を狙う。冷房の効いた「クールシェアスポット」は今年は二百十七カ所あり、昨年より十カ所増えた。

今夏もクールシェアを

猛暑の熊谷で多彩なイベント



熊谷市の「当地かき氷「雪くま」」の新商品を食べる児童ら

星川ではこの日、たらい舟を浮かべた川下りが行われた。参加した市立石原小学校二年の高橋君（まこと）と妹の蘭ちゃん（らん）は「一寸法師になった気分」。母親の由香里さん（ゆかり）は「じりじりとした熊谷の暑さに備えるため、今年は自宅でアサガオを使った緑のカレーを作ります」と話していた。

会場近くは、雪のようにふわふわな食感を出した熊谷市名物のかき氷「雪くま」も提供された。シンソク洋菓

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗

名物かき氷に新作



大きなクールボトルを贈られ喜ぶニャオざね

マスコットにクールボトル

会場では、雪のようにふわふわな食感を出した熊谷市名物のかき氷「雪くま」も提供された。シンソク洋菓

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗



料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗

◇

料理店の店先に掲げられたクールシェアののぼり旗